

○ 生成A I活用の検討について

1. 概要

- ・ A I技術の発展に伴い、C h a t G P T等の生成A Iが注目され、業務効率化への寄与が期待されている。
- ・ 生成A Iは、利用者からの質問内容等を生成A Iの学習のために収集し、トレーニングすることにより常に性能を改善していることから、活用にはI Tリテラシーが求められる。
- ・ 現時点で、国からの活用の指針・運用基準などは示されておらず、利用については自治体の判断となっていることから、生成A Iの庁内業務の利活用に向けた検証を開始する。

2. 検討体制

- ・ デジタル化推進室のもとに設置するワーキンググループで検討
- ・ ワーキンググループは、活用が見込まれる業務に係る関係所属の職員、5名程度で構成
- ・ C h a t G P T等の生成A Iを試験的に利用し、庁内における利活用を検討
- ・ 当面のルールとして、
 - ① 業務の参考程度に活用する。(生成A Iの回答をそのまま公文書や公開文書として使わない)
 - ② 個人情報や機密情報は入力しない。
 - ③ 各課インターネット専用端末を利用する。
 - ④ 私物のP C、スマホで業務利用の禁止

3. 検討内容

- ・ 活用する業務分野の選定や、職員が使用する際に遵守すべき点等を整理、ガイドライン案を作成
- ・ 各課共通で活用が見込まれる業務を対象に試行
【活用を検討する業務】
課題解決等のアイデア創出、文案の作成・添削、議事録の要約、翻訳等

4. スケジュール

2023年6月下旬 ワーキンググループ設置、試行・検証開始

2023年10月 ガイドライン案のとりまとめ